

したものと言えよう。

参考文献

- (1) 渡辺淳一「かさぶた宗建」『長崎ロシア遊女館』講談社
昭和五四年 八七頁
- (2) 呉 秀三「シーボルト先生生涯及功業」柳原書店
昭和五四年復刻版 七一五～七一七頁
- (3) 古田東朔「幕末の洋学者、佐嘉藩蘭学寮の重鎮 大庭雪斎(上)」『葉隠研究』第五三号 平成十六年 五五頁
- (4) 酒井シヅ「佐賀藩の医学」杉本勲編『近代西洋文明との出会い』思文閣出版 平成元年 一四七頁
- (5) 佐賀県立病院好生館『好生館百周年記念誌』平成九年
<http://www.koseikan.jp/>
- (6) 吉村 昭「伊東玄朴」「相良知安」「日本医家伝」講談社
昭和四六年 五五頁 一九九頁
- (7) 深瀬泰旦『天然痘根絶史 近代医学勃興期の人びと』思文閣出版 平成十四年 五二頁
- (8) 鍵山 栄『相良知安』日本古医学資料センター 昭和四八年

例会記録

平成十七年十月例会

平成十七年十月二十二日

順天堂大学医学部九号館二階八番教室

一、甲賀通元『重訂古今方彙』のルーツを探る

鈴木達彦、遠藤次郎、中村輝子

二、明治時代の苦学生 西井格太郎と順天堂医院手術傍観録

西井易穂

平成十七年十一月例会

平成十七年十一月二十六日

順天堂大学医学部九号館二階八番教室

一、近世日本の屍体供養―祭文に書き込まれた腑分の社会的

位置づけ

香西豊子

二、ジェンナー像の種々相

深瀬泰旦

平成十七年十二月合同例会(日本医史学会・日本薬史学会・

日本獣医史学会・日本歯科医史学会四学会合同)

平成十七年十二月十七日

順天堂大学医学部五号館三階会議室

一、星薬科大学創立者 星 一の生涯

三澤美和

二、日本に伝わった中国解剖図

酒井シヅ

三、医学史、歯科医学における横浜

榊原悠紀田郎

四、日本の法医学、その始まり

池本卯典

平成十八年一月例会

平成十八年一月二十八日

順天堂大学医学部九号館二階八番教室

シンポジウム「個人情報保護と医学史研究」

一、はじめに

岡田靖雄

二、個人情報保護法と個人史研究

弁護士 森田 明

三、個人情報保護と学会誌編集

瀧澤利行

平成十八年三月例会

平成十八年三月二十五日

順天堂大学医学部十号館四階四〇三番教室

一、小野豊三郎の解剖学ノートの解剖図

坂井建雄

二、齋藤茂吉における病いと老いと

岡田靖雄

例会抄録

星薬科大学創立者 星一の生涯

三澤 美和

星薬科大学および星製薬株式会社の創立者である星一は、明治・大正・昭和にまたがる七十七歳の波乱万丈の生涯を送りました。その破天荒とも云える生き方はとても魅力的であります。没後六十余年経過しますが、わが国ばかりでなく世界の人々からも忘れられることなく、今でもしばしば星一の名前が登場し紹介され続けられています。この講演では星一の人生を跡付け、その人物と偉業を偲びたいと考えます。

一、はじめに

星一は、明治六年十二月二十五日に福島県石城郡、今のいわき市郊外で農家の長男として生まれました。

二、渡米と苦学

上京し、東京商業学校を卒業し、明治二十七年、二十一歳で渡米しました。明治中期一介の青年が世界を夢見て海を渡りました。苦学の末、ニューヨークにある名門コロンビア大学で統計と経済を学び卒業しました。十二年間の滞米生活で、自由で楽観的、進取的、建設的なアメリカの精神風土をたっぷりと吸収しました。